

事業所名

花の彩

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		株式会社 彩 職員は、法人の基本理念の具体化と福祉関連法令の遵守を目指し、障がいのある人たちが、豊かな人生を自己表現できるよう支援する事が責務です					
支援方針		子ども達の困り感について、脳のネットワーク機能の障害に基づいた視点と5領域を網羅した視点で捉え、アセスメントを実施します。アセスメント結果を分析し困り感の理由を分析していきます。また、活動に子ども達が無理に合わせるのではなく、子ども一人ひとりに適応した活動を提供するため、個別または小集団での活動を計画・実施します。					
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	睡眠、食事、排泄など基本的な生活習慣を形成し、健康的な生活リズムやADLの自立を支援します。さらに、社会生活に必要なIADL(金銭や時間管理、公共交通機関の利用)の視点も重視します。学齢期には、二次障がいやメンタルヘルスの課題に対応し、自尊感情や自己効力感を育むことで、子どもがこれらの課題を乗り越えられるようサポートします。					
	運動・感覚	子どもな感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。また、感覚、知覚、認知の視点を取り入れ、感覚入力を正確に処理できるよう、感覚遊びや識別訓練などの課題を提供します。粗大運動では、前庭感覚や固有感覚を意識しながら、バランス感覚や姿勢を養う活動を行います。微細運動では手指の巧緻性を高める活動を通じて、日常生活や学習に必要なスキルの向上を目指します。					
	認知・行動	読み、書き、聞く、見る、推測する力の土台を築くために、眼球運動や視知覚、音韻意識、記憶力を総合的に支援します。これにより、集中力や注意機能、課題処理能力を高め、学習や日常生活の困難を軽減し、自信を持って取り組める力を育みます。（アセスメントを基に個々に応じた支援課題を実施します）					
	言語 コミュニケーション	視覚的・聴覚的指示理解を支援し、指示を正確に理解し行動に移す力を育てます。発語意欲や語彙、語想起の力を高め、発達を促しながら伝える力や説明力を支援します。必要に応じてICT機器を活用し、意思伝達や環境理解を支え、状況に応じたコミュニケーション能力の向上を目指します。					
	人間関係 社会性	ルール遊びを通じて、言語指示の理解や自己コントロールを支援し、相手の気持ちを考える機会を提供します。さらに、注意の切り替えや感情の抑制機能を高めることで、場面に応じた適切な行動が取れるよう支援します。また、相手の立場を理解し共感する力を育てることで、協力や対話を円滑に進める社会性の発達を促します。					
家族支援		家庭環境や子どもの特性を把握するため、定期的な面談や自宅訪問を通じて課題を共有し、家庭で実践しやすいホームプログラムを提案します。加えて、日々の取り組みを支える相談援助を行い、家庭全体で連携しやすいサポート体制を整えます。			移行支援		子どものアセスメント結果や個別支援計画書など、支援内容に関する情報をモニタリングや担当者会議、面談を通じて共有します。
地域支援・地域連携		・地域のイベントへ参加 ・各種関係機関（学校、相談員、児童相談所）との連携を図る			職員の質の向上		・外部研修会への参加 ・事業所内会議研修（月1回） ・随時スタッフの悩み相談のサポート体制 ・各部会や療育協会等の講演会への参加
主な行事等		・いちご狩りやみかん狩りの味覚狩りを含む外出訓練（祝日に実施）、調理実習、季節のイベントを取り入れた活動（夏祭り、クリスマス会、餅つき、初詣など） ・保護者親睦会（年2回）					